

対象：女子  
学部学生・  
院生



物理に進んだ女性のキャリア



疋田 彩 (ヘンケルジャパン株式会社)  
「世界で活躍することを夢見て」



清水 智子 (国立研究開発法人 物質・材料研究機構)  
「ロールモデルのつまみ食い」



苜山 圭以子 (東京大学 宇宙線研究所)  
「日々、地下にもぐる  
~ついにひらかれた重力波の“窓”」



横山 広美 (東京大学 Kavli IPMU)  
「物理を経て、現代科学論の研究者に」

物理が好き!

やっぱり

これから物理を学ぼうという学部生や物理学科に進学した学部生及び大学院生のみなさんに向けて、様々な講師の方をお招きしキャリアパスをご紹介します。施設見学や交流会もあり、参加者同士のネットワークをつくり、広く物理学分野(素粒子・原子核、宇宙・天文、物性、理工学)の魅力を感じていただく稀有な機会となります、奮ってご参加ください。

日時：2017年11月18日(土) 13:00-17:00 (12:30 開場)  
会場：カブリ数物連携宇宙研究機構棟 1F レクチャーホール ほか  
(東京大学柏キャンパス)  
対象：物理学科及び物理専攻の女子大生及び大学院生  
参加費：無料  
定員：40名程度(事前申込制)

申込：応募フォーム(11月2日応募締切)  
<http://www.ipmu.jp/ja/20171118-WomenStudents>  
通知：応募多数の場合は抽選となります。決定の通知は詳細とともに11月7日ごろにご連絡いたします。  
問合せ：☎ 04-7136-5977  
Email: [koukai-kouza@ipmu.jp](mailto:koukai-kouza@ipmu.jp) (Kavli IPMU 広報)

11/13まで  
延長します!



主催：東京大学国際高等研究所カブリ数物連携宇宙研究機構 (Kavli IPMU)、東京大学物性研究所、東京大学宇宙線研究所/後援：東京大学理学部物理学科、東京大学男女共同参画室、日本物理学会(申請中)、応用物理学会、高エネルギー加速器研究機構、お茶の水女子大学理学部物理学科、東京理工大学工学部物理システム工学科、法政大学理工学部創生科学科、総合研究大学院大学(申請中)/世話人：村山新(Kavli IPMU)、瀧川仁(東大物性研)、梶田隆章(東大宇宙線研)、森初梨(東大物性研)、野尻美保子(高工不研)、鈴木博之(東大物性研)、松尾由頼利(法政大)、毒取浩子(東京農工大)、古川はつき(お茶大)、餅田円(東大宇宙線研)、福田大康(東大宇宙線研)、小森真里奈(Kavli IPMU)

(注1) 遠方の学生の方については柏キャンパス内の宿舎をご利用いただけますので、ご相談ください。ただし、旅費/宿泊費はご自身の負担となりますことご了承下さい。

# やっぱり物理が好き！—物理に進んだ女子学生・院生のキャリア

2017年11月18日(土) 13:00-17:00 (12:30開場)

これから物理を学ぼうという学部生や物理学科に進学した学部生及び大学院生のみなさんに向けて、様々な講師の方をお招きしキャリアパスや研究内容をご紹介します。施設見学や交流会もあります。

開会挨拶 13:00-13:05

講演1 13:05-13:25

## 世界で活躍することを夢見て

幼少期を海外で過ごした経験により、エレクトロニクス技術トップクラスの日本のメーカーで働きたい、そして海外で活躍してみたいという思いで、これまでのキャリアを過ごしてきました。現職のような仕事につくとは想像していなかったものの、その時々直感や興味をもったことに正直であることを大切にしてきました。物理を学んでからのキャリアパス、女性エンジニアの活躍、グローバル企業で仕事することについて紹介します。

ひきたあや  
**疋田 彩**

ヘンケルジャパン株式会社 シニアエンジニア



2005年筑波大学大学院 物性工学 修士課程終了後、シチズン電子に入社し、照明用LEDの開発に従事。2012年ヘンケルジャパン株式会社へ転職し、接着剤の性能評価と顧客サポート業務に携わっている。

講演2 13:25-13:45

## 日々、地下にもぐる

～ついにひらかれた重力波の“窓”

2015年9月、アインシュタインが約100年前に予言した重力波が、ついに初検出されました。米LIGOプロジェクトがとらえたその信号の源は、多くの研究者が予想していなかったブラックホール連星合体。これまでの望遠鏡では見ることができなかった天体現象を観測する「新しい窓」が開かれた大発見です。何がすごい？ どうやって検出するの？ 講演ではそんな問いにこたえ、岐阜県の鉱山地下で建設を進めるKAGRAについてお話します。

こけやまけいこ  
**荅山 圭以子**

東京大学 宇宙線研究所 助教



お茶の水女子大学博士後期課程課程修了後、ポスドク研究員としてイギリスのパーミンガム大学へ。その後、米国の重力波検出器プロジェクト Advanced LIGO に参加。現在は、日本の重力波望遠鏡「KAGRA」の稼働を目指し、日々地下トンネル潜る。

事前説明・施設見学 13:55-15:00

ティータイム 15:00-15:30

講演3 15:40-16:00

## ロールモデルのつまみ食い

原子や分子が1つずつ計測できる走査型プローブ顕微鏡という装置を設計し、組み立て、その装置で物質の表面や吸着分子の様子を研究している私。なぜ研究者になったのか？なぜこの分野の研究をしているのか？どのタイミングで子供を産み、どのように子育てと研究をやりくりしているのか？これらの質問に答えるため、私のこれや目標となった人々との出会いを紹介します。国研究者の日常についてもお話します。

しみずともこ  
**清水 智子**

国立研究開発法人 物質・材料研究機構 主任研究員



カリフォルニア大学バークレー校物質材料科学専攻で Ph.D. 取得。理化学研究所で任期付研究員を5年9ヶ月勤め、2013年4月より現職。JST さきがけ研究者兼任。専門は走査型プローブ顕微鏡を用いた表面科学研究。

講演4 16:00-16:20

## 物理を経て、現代科学論の研究者に

中学生のときに宇宙論に魅せられ大学院まで物理学を修めました。当時から、ワクワクする科学にニカれると同時に、戦争に使われる科学や、貧困問題があっても巨額予算の科学が進む社会の矛盾に関心がありました。人類はなぜ、科学を追い求めるのだろうか。科学はどのように社会と調和し、人類の幸せに貢献できるのだろうか。こうした科学論、科学コミュニケーション論、科学技術政策論をテーマに文系研究者として活動しています。

よこやまひろみ  
**横山 広美**

東京大学 Kavli IPMU 教授

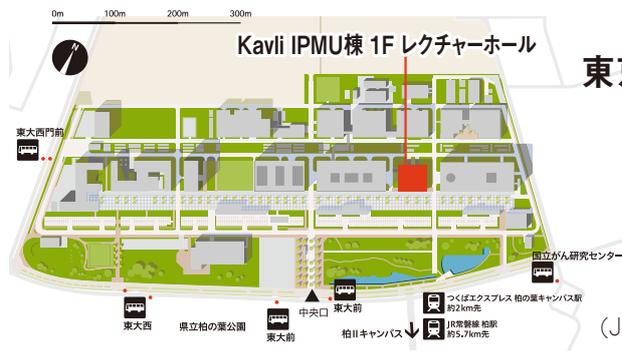


東京理科大学大学院修了、博士(理学)。大学院で素粒子実験を修めたあと、専門を現代科学論・サイエンスコミュニケーションにした。東京工業大学特別研究員、総合研究大学院大学上級研究員、東京大学大学院理学系研究科准教授を経て2017年4月から現職。

交流会 16:20-16:55

閉会挨拶 16:55-17:00

## 会場



## 東京大学柏キャンパス Kavli IPMU棟

住所：千葉県柏市柏の葉5-1-5

柏の葉キャンパス駅 (つくばエクスプレス) よりバスで約8分  
柏駅西口 (JR常磐線・アーバンパークライン) よりバスで約30分